



エネちゃん



エネちゃん



Valentine's day



経済産業省  
北海道経済産業局  
Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry

10年前、液晶テレビの主流サイズは32型。最新の32型に変えると、約70%の省エネにつながります！！電気料金に換算すると年間で約3,000円の節約になります。

※現在販売されている省エネ機器の性能等については、「省エネ性能カタログ2017年冬版」をご覧ください。

[http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/general/more/pdf/winter2017.pdf](http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/more/pdf/winter2017.pdf)



### 石油特集

## 地域における燃料の安定供給確保に向けた取組を紹介します ～ SS過疎地対策 ～



ガソリン、灯油などの石油製品は、国民の生活に欠かせないエネルギーです。

しかし、燃料供給の担い手であるガソリンスタンド（サービスステーション：SS）の数は、近年、ガソリン需要の減少、後継者難等により、減少し続けています。近隣にSSがない地域では、自家用車や農業機械への給油や移動手段を持たない高齢者への灯油配送などに支障を来す恐れがあることなど、いわゆる「SS過疎地（※）問題」は、地域住民の生活環境の維持および防災上の観点から、全国的な課題となっています。

SSは、地域の燃料供給拠点として、最も身近なインフラ機能の一翼を担う存在であることから、自治体のリーダーシップのもと、早めの対策が求められます。

※SS過疎地：市町村内のSS数が3ヶ所以下の地域（平成29年3月31日現在：302市町村（うち北海道62町村））

### ①SS過疎地対策関連施策を紹介します

地域における燃料の安定供給確保に向けた経済産業省の施策をご紹介します。

#### ◆離島・SS過疎地における石油製品の流通合理化支援事業費

【平成30年度予算案額：47.6億円】

SS過疎地において、消費者にとつてのSSへのアクセスの利便性を維持するために、SSの生産性向上・経営革新や地域の総合生活サービス拠点への転換による経営基盤強化及び環境・安全対策を支援します。

#### (1) SS過疎地対策検討支援事業

SS過疎地の自治体等が住民の利便性維持のための燃料供給体制に係る計画を策定する取組を支援します。

また、過疎地等において、地域の実情に応じた燃料供給システムの構築に係る実証事業や、SS従業員の人材育成・マッチングを支援します。

#### (2) 環境・安全対策等を行う中小SS等への支援

地下タンクからの危険物漏えい防止のための補強工事や漏えい点検検査、地下タンク等の撤去、SSの統合・集約・移転等を支援します。



### ②北海道初の公設民営SSが伊達市大滝区にオープン！

平成29年3月末、伊達市大滝区で唯一の給油所が閉鎖しました。

事態を憂慮した伊達市では、給油所の経営者から、給油所の土地と施設を無償で譲り受けるとともに、経済産業省の補助金を活用して、地下タンクの入替えを行うなど、給油所施設の整備を行いました。

そして、平成29年9月8日に、北海道初の公設民営SS「大滝サービスステーション」がオープンしました。給油所の運営は、室蘭市にある「北海石油(株)」に委託しています。

住民からは、「地元で給油することができて、大変助かる」といった声が寄せられるなど、同地域の燃料供給拠点として、地域住民の生活を支援しています。



大滝SS外観（提供：出光興産(株)）



大滝SS開設セレモニーの様子

平成30年度予算案に関する資料は、以下のURLをご覧ください。

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2018/index.html](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2018/index.html)

## 「北海道のエネルギーを支える人々」 ～ 電力供給を支える 北海道電力・中央給電指令所 ～

厳寒である冬季の北海道では、電力需要が増えます。わたしたちの生活に必要な不可欠な電気を安定して届けるために人知れず奮闘してる人々がいます。

今回は、その現場となる北海道電力・中央給電指令所取材しました。



### ◆ここではどんなことをしていますか？

質の良い電気をお客様へお届けするために、5チーム（1日3交代）で電力系統を24時間365日昼夜休みなく監視・制御しています。具体的にはご家庭や工場などで使われる電気の量を予測し、火力発電所などへ必要な電気を発電するための指令を出しています。

### ◆電力需要の予測はどのようにしていますか？

天候、気温、降雪量、曜日や経済状況などを総合的に考慮して毎日の電力需要を予測しています。需要の少ない深夜であっても、サッカーなどスポーツ中継や災害があった際には、みなさんがテレビや照明をつけるため、需要の変化に対応する必要があります。



中央給電指令所

### ◆発電所や送電線でトラブルが起きたときは、どのように対処していますか？

発電所のトラブルの際には、運転中の発電機余力の活用や、停止中の水力または火力発電所を運転するなどして対応しています。また、送電線（電圧の高い基幹系）は2回線の設備となっており、1回線が停止しても電気の供給が途絶えることはありません。

### ◆仕事で大変だったこと、苦労したことはありますか？



取材にご協力いただいた  
古川指令長

冬期間は降雪や気温低下で急激に需要が変わります。最近では太陽光などの再生可能エネルギーが増えてきており、雲の流れひとつで発電量が急に変わってきます。そのような気象状況下での需給調整に気を使います。

＜総合エネルギー広報室＞

## 引き続き、無理のない範囲で省エネルギーへの取組に協力をお願いします

平成29年度の「冬季の省エネルギーの取組について」において、11月から3月まで冬季の省エネルギーの取組を促進しています。詳細は、以下のURLをご覧ください。

◆平成29年度「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/winter17/>

＜総合エネルギー広報室＞

## 「エネルギー関連施策説明会」を開催します

北海道経済産業局では、省エネにつながる設備入替・無料診断等の支援制度や、地域における再生可能エネルギーや天然ガスの利用促進につながる支援制度をご紹介しますエネルギー関連施策説明会を道内4ヶ所で開催します。

開催地	日時	場所
函館市	2月23日（金）14:00～16:00	サン・リフレ函館大会議室 （函館市大森町2-14）
岩内町	2月26日（月）15:00～16:30	岩内町地場産業サポートセンター会議室 （岩内町字大浜476-28）
札幌市	3月19日（月）14:00～15:30	ACU-A大研修会1614 （札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45・16階）
釧路市	3月22日（木）15:00～16:30	釧路工業技術センター会議室 （釧路市鳥取南7丁目2-23）

【対象】企業、団体、行政機関等

【プログラム】◆省エネルギー投資促進に向けた支援補助金

◆中小企業等に対する省エネルギー診断事業費補助金

◆地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金

◆天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業費補助金 ほか

※函館会場は「日本のエネルギー政策」についても併せてご紹介します。

※詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20180130/index.htm>

＜エネルギー対策課＞

## 編集後記

偶数月号で「北海道のエネルギーを支える人々」を連載します。今月号は北海道電力・中央給電指令所を訪問しました。訪問当日は、北海道内では氷点下30℃まで冷え込んだ地域もあり、今冬最大の電力需要を記録。そのような日でも電気を届けるため奮闘しています。これからも人知れず道民の生活や産業を支える人々にスポットライトを当てていきます。（有）

経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室  
TEL:011-709-2311 内線2634 E-mail: [hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp](mailto:hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp)